

総合演習課題

作成プログラム概要

N桁の数字を受け取り、素因数分解した結果のリストを返すProgramを作成せよ

使用言語：Java（versionは問わない）

呼び出し方：Factorization.factorize(int)

仕様

Input : int	Output :Array[int]
10	[2,5]
47	[47]
18	[2,3,3]

以上

ルール

誰かが代表してリポジトリを作成してください
全員、Branchを切って作業してください。

チーム内を以下のように分ける

- Aチーム：製品プログラム作製（2）
- Bチーム：テストプログラム作製（1）

PRは書いて、別チームにレビューしてもらってください。

最後に性能評価します。

確認するのに楽になるので製品コードは1つにまとめてください。

仕様変更（30分後くらいに出す）

Input : int	Output :Array[string]
10	[2,5]
47	[47]
18	[2,3^2]

以上

振り返り

今回、チャレンジしていただいた観点

- 2チームにわかれてペアプロを行う← ペアモブプロの振り返り
- 2チームがGitHub上でPRをだす。← Git, GitHub研修
- コードレビューを双方に行う← リーダブルコード振り返り
- 要求変更を通して設計の大切さを考える
- テスト駆動開発を少しでも体験してほしい
- ちょっと数学やる ← リーダブルコード研修の続き

要求変更を通して設計の大切さを考える

Agile開発では少しずつ物を作っていくことが常です。

ので最初に決めた方針（設計）が後々の機能追加のコストに大きく影響します。

現場でさまざまな経験をしてください！

テスト駆動開発を少しでも体験してほしい

品質を高めるのは、テストではなく設計とコーディングです。

けど、それを測定するのはテストです。

テストを書いているだけでは品質は上がらない（体重計に乗っただけでは痩せない）

可視化しておくことが大事です。

このAgile研修ではそこまでできないが（テストコードを書いている時間はない）

現場に出る前に知識とだけでも知っていて欲しかったの入れました！

ちょっと数学やる

プログラマとしての頭の使い方を鍛えるためにも数学は必須だと僕は思います。
TrackでもAtCoderでもなんでもいいので、研鑽は続けてください！

参考URL

[CodeWars](#)

[AtCoder](#)

現場で待ってます！

2019入社、2020入社 Dx研修卒業生一同